キャリア・アドバイザー通信

今回のキャリア・アドバイザー通信では、文系学部を卒業後、社会で活躍するOB・OG4名の皆さんにインタビューをさせていただきました。毎年、1700人近い卒業生が、久留米大学から社会へ巣立っていき、そしてそれぞれの場所で活躍しています。今回、インタビューした4名の共通する点は、大学での学びや経験が結果としてキャリアを選択するとき、または卒業後のキャリア形成に大変役に立っているということです。やはり、大学生活は将来を決める貴重な時間です。在学生の皆さんは、OB・OGの背中をみながら自分自身の新たなキャリアを模索してください。また、OB・OGの皆さんは、巣立った大学を胸に刻みつつ、新しいキャリアを切り開いていってほしいと願っています。また、いつでも大学に元気な姿をみせてください。

太田　誠三（おおた せいぞう）

2013年3月
文学部心理学科卒

○現在の仕事は
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 千葉職業訓練支援センター入構2年目。センターにおける経理処理を担当。

○久留米大学での思い出は
子ども・障がい者への支援活動（BBSサークル）。

○久留米大学の印象
勉強しようと思えば、就職をしようと思えばいくらでも支援してくれる大学。

○後輩へのメッセージ
働き始めるとわかることですが、学生のうちにできる限り勉強をしておいてください。

亀石　泰斗（かめいし たいと）

2008年3月
法学部法律学科卒

○現在の仕事は
福岡県庁国際交流局勤務。ヨーロッパ担当。ヨーロッパでの福岡のPRまたは、インバウンドでのサポート。

○久留米大学での思い出は
国際交流サークル（パンダ）での活動。久留米大学には、国際交流のサークルが4～5団体あり、当時は相互に活動が盛んであった。結果として現在の業務にもとても役に立っている。

○久留米大学の印象
やりたいことを応援してくれる、環境を整えてくれる大学。

○後輩へのメッセージ
「ご利用は計画的に」
学生課、就職・キャリア支援課などが数多くイベントを主催するにもかかわらず見過ごすことが多いと思う。いつでも情報をキャッチアップして、自分の目標と計画を立てながら実行していくことが大事だと思う。

小柳　侑毅（こやなぎ ゆうき）

2014年3月
商学部商学科卒

○現在の仕事は
福岡銀行志免支店勤務。支店にて法人営業（融資担当）。新入行員の中で唯一法人担当。

○久留米大学での思い出は
少林寺拳法での主将としての部活動。

○久留米大学の印象
社会人になって思ったことは、久留米大学の就職支援がいかに充実しているか。合宿、ガイダンス、講座が特に充実している大学。

○後輩へのメッセージ
「ファイト」
やりたいことを全力で頑張ってください。

内野　綾香（うちの あやか）

2014年3月
経済学部経済学科卒

○現在の仕事は
KDDI株式会社神戸支店。auショップのコンサルティング業務に従事。

○久留米大学での思い出は
合宿などでの後輩へのケア・指導。携帯電話の会社でアルバイト。

○久留米大学の印象
教授との距離が近い、話がしやすい。

○後輩へのメッセージ
「楽しむ　enjoy」
楽しもうとすることで、何事も全力でやることができると思う。

最後になりますが、大学での共通教育キャリア科目では、「仕事とキャリア」で社会で活躍するOB・OGの方に来学いただき、社会・職業の現場の話を聞く機会を設けています。また、就職・キャリア支援課での就職支援でも沢山の方々にご支援をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

（特命講師 キャリア・アドバイザー 酒井佳世）